

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校
校長
酢谷昌義



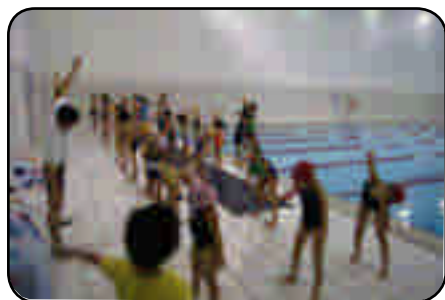
自分の足を確かめながら「バタ足」

頑張っています「水泳」

毎週木曜日の午後はアスパイアのプールで水泳を行っています。第2学期になってからはプールも何となく狭くなったように感じます。先週で今学期3回目の水泳授業となりましたが、幸いこれまで6コース全てを使うことができているので、児童生徒数が増えた今も十分に練習に取り組むことができます。

日本だともっと多くの人数が、年間10時間程度という限られた時間でプールを使います。しかも通常45分間の授業の中で、実際にプールに入っている時間はその半分程度ですから、初心者の方は水に慣れることもできずに終わってしまうことさえあります。体育の授業で泳力を高めることまでをねらうのは、ほとんど難しいのが実情です。

ドーハ日本人学校の水泳授業は、毎回1時間(60分間)レベルに応じて3つのグループ(メダカ・ペンギン・イルカ)に分かれて取り組んでいます。子ども達の疲れ具合も確認し



準備運動の「ラジオ体操」

休憩もはさみながら、かなりの運動量を確保しています。

私はメダカコース(初心者)を担当していますが、ついこの前まで水に顔をつけることも怖がっていた子どもが、自分から進んで潜ったりバタ足の練習をしたりするようになるのを見るたび、子ども達の進歩の早さには驚かされます。しかし水への恐怖心というものもなくすのは、やはり相当時間を必要とします。

水泳指導の最も大きなポイントは「息継ぎ」です。このことは以前にも触れていますが、自由に息ができないという不安から恐怖心をなくせずにいる場合がほとんどです。泳ぎの指導として最も大切なことは、自分が「水に乗って泳いでいる」という感覚を身につけさせることです。その

ためにフォームの指導が重要になってきます。抵抗の少ない無駄のないフォームが、最も効率よく泳げるからです。

フォームの指導も大変時間がかかります。それは自分で自分の泳いでいる姿が見えないからです。スポーツの指導には、良いイメージを持たせることがとても効果的です。良い動き・良い泳ぎが分かりそれを真似できる、つまり見て学ぶということもこれからは大切にしていきたいと考えています。



勢いよく水しぶきが上がります

久しぶりの「全校集会」

中間休みを利用して、久しぶりに「全校集会」を行いました。普段は登校後に行っていますが、こここのところスクールバスの到着時間がまちまちで、予定した日にできていませんでした。

私からは新しいスクールバスをいただいたことと、実りの秋について話しました。いつものように、みんな真剣に聞いていました。

その後はそれぞれの委員会から、全校に向けての様々な連絡事項が伝達されました。

隔週で行う全校集会ですが、みんなが集まって話を聞いたり発表したりという機会は、やはり大切だと感じました。



校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

緑一色の不思議なスタジオ

第3回地域理解校外学習

昨日は今年度3回目の地域理解校外学習を行いました。アルジャジーラ・チルドレンズチャンネルというテレビ局と、バルザンタワーの見学に出かけました。

個人的にはこれまで何度かテレビ局の見学をしたことがあります。今回ほどいろいろな施設・設備を見せてもらったり、ていねいに説明してもらったりしたことはありませんでした。それだけに大変充実した見学になったように思います。低・中学年には難しい説明もありましたが、見るだけで楽しめたり参考になったりするものが多く、とても良かったと感じました。

このテレビ局はアラビア語の番組しか製作していません。アラビア語の理解を深め、そして広めるためにあるテレビ局なのだという説明がありました。日本でいえばNHKの子ども向け教育番組を作っているのとほぼ同じということです。だからテレビ局がエデュケーション・シティーの中に

あるのだということが納得できました。

1時間ほどの見学予定が2時間近くに伸びてしまいましたが、大変楽しく有意義な学習になったと思います。帰り際にはたくさんのお土産までいただきました。子ども達も大喜びで、お世話してくださったテレビ局の方々も満足そうに見送っていただきました。

時間の関係で先に昼食をとり、その後バルザンタワーに立ち寄りしました。私の記憶に残っているのは崩れかけた建



アニメーションの製作現場



補修前のバルザンタワー



討論番組の撮影スタジオ



バルザンタワーをバックに記念撮影：まだまだ暑い!!

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

いろいろと企画してくれました

ウェブ交流で贈呈式

今朝は1時間目を利用して、日本の旭北小学校(愛知県知多市)とウェブ交流学習を行いました。旭北小学校との交流は、昨年から高学年を中心として行われていました。知多市とドーハ市が友好都市関係になっており、昨年ドーハ日本人学校ができたのをきっかけに交流が始まりました。

今回は旭北小学校の児童が集めた本を、ドーハ日本人学校に贈ってくれるということで、贈呈式にあわせ児童生徒の交流を深める目的で行われました。

なぜ図書の寄贈になったのかと言うと、昨年知多市の交流協会一行がドーハ市を訪問された際、日本人学校にも立ち寄られました。市長をはじめ関係の方々、図書室の本が日本に比べまだまだ少ないのをご覧になり、図書の充実にも少しでも協力できないかと働きかけてくださり、今回の贈呈式になりました。

旭北小学校の児童が中心となって呼びかけ、いろいろな



みんなが画面に向かって整列

本を集めてくれたようです。物語・絵本・図鑑など、贈られてくる本の総数は230冊にもなりました。これから船便で送られるようですが、本が到着するのが今からとても楽しみです。

贈呈式の後、ゲームをしながらお互いに楽しく過ごすことができました。旭北小学校の実行委員が計画してくれたゲーム(漢字クイズ・なぞなぞ・早口言葉・イントロクイズ



ジャンケンポン!あっち向いてほい

など)に、みんなで挑戦し盛り上がりました。

最後は6年生3人がみんなを代表し、きちんとお礼の気持ちを伝えてくれました。

ドーハ日本人学校はこうした多くの方々に支えられ、いろいろな面で少しずつ充実してきました。今回の図書の寄贈にご協力くださった多くの皆様に、心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



児童生徒代表お礼のあいさつ

新しいスクールバスの配車予定について

新スクールバスの現状についてお知らせいたします。

先週、保護者代表の舟木様・中山様にご協力いただき、4台体制でのルートは決定いたしました。相変わらずの交通混雑ですが、登校時と下校時の配車を1部変更して、下校時についてもできるだけ乗車時間を短縮できるようにと考慮していただきました。

それに基づき1日も早く配車をと準備を進めております

が、肝心のドライバーが派遣されていません。中型バスの運転経験を持つドライバーがなかなかいないというのが原因ですが、来週には派遣される予定です。

新しいドライバーが決まりしだい試走を行い、早急に4台での送迎ができるようにと考えております。

来週中には配車できるようになると思いますので、よろしく願いいたします。